

『びわこ地球市民の森』～放課後等デイサービスこまち～

夏休みの期間は、自由時間を使って学校の宿題にコツコツ取り組んだ子どもたち(*^-^*) まじめに勉強を頑張る子どもたちの姿には本当に感心させられました。お盆明けには「宿題終わったよ！」と嬉しそうに報告する子が続出し、職員もこれでひと安心。子どもたちは楽しい夏休みの思い出を胸に元気に学校へ戻っていきました。

二学期が始まりひと月ほどが過ぎた9月30日(土)、ようやく暑さが和らぎ過ごしやすい季候になってきたということで、こまちでは滋賀県守山市にある『びわこ地球市民の森』に行ってきました。こまちでここにお出かけをするのは初めてということもあって、子どもたちは「どんなところかな?」、「遊具は何があるんだろう?」とみんな着く前からワクワクがとまりません(*^-^*)

今回訪れた『出会いのゾーン』には、うねりがある滑り台にターザンロープ、球体のブランコなどなど、近くの公園では見かけない珍しい遊具がたくさんあり、みんな大喜びです(^^) / 高学年の子がターザンロープで遊んでいるのを見て、低学年の子も勇気を出して挑戦します!! 1回目は途中で力尽きて尻もちをついてしまいましたが、案外面白かったようで、コツをつかもうと何度もチャレンジする姿が印象的でした!!



みんなで楽しく遊んでいると、大きな犬を連れて散歩に来られた近所の方が、「この犬は噛まないし触ってみる?」と声をかけて下さいました。「可愛い!」と積極的に近づいていく子もいれば、少し及び腰になりながらも恐る恐る触ってみる子、手だけ振って遠目に見る子など、普段なかなか見ない子どもたちの一面に触れ、職員はホッコリとした気持ちになりました。

『びわこ地球市民の森』には、今回遊んだ広場以外にも、『つどいのゾーン』、『里の森ゾーン』などがあり、大型遊具や木のジャングルジム、クラフト教室などがあります!! 何度行っても楽しいので、是非皆さんも遊びに行ってみてください。

こまちの秋は、公園遊びやクッキング、お芋堀りやハロウィンパーティーなど楽しい企画が盛りたくさん!! 子どもたちといっしょに穏やかな季節を満喫したいと思います(^o^)/ (執筆: 山岡 優)



たくさんのご来場に感謝 銭形フェスティバル.2023

10月1日(日)、銭形グループは『銭形フェスティバル.2023』を開催しました。今年も昨年同様、熱中症リスクを考慮して猛暑の時期を外し、秋の開催としました。また、今年も新型コロナウイルスが「5類感染症」に移行したことを受け、マスク着用のうえで室内でのアトラクションも復活させました。



当日は昨夜から降った雨が明け方には止んで薄曇りの天気。「天高く馬肥ゆる秋」とはいきませんでした。昼からも雨は降らないとの事でスタッフ一同ひと安心です。今回の屋台は、伝統の焼きそばをはじめ、昨年登場のカリッジュの唐揚げ、自家製だれのみたらし団子、チュロス、そして、新メニューとして松茸ご飯、チーズトルネードフランク、ワッフルカットポテト、宇都宮しゅうまい、中華ちまき、いちご雪氷など多彩な品数を取り揃え、コロナ禍で開催した昨年より大幅に食数も増やしました。11時開店の予告にもかかわらず、10時過ぎには屋台にご近所のお客様がぼつぼつと並び始め、準備に当たる模擬店スタッフの手はすでにフル回転です。



定刻の11時となり、オープニングセレモニーを飾ったのは、最近子どもたちの間で大人気の『ジャンボリミッキー』です。例年流行りものは外さない銭形オールスターズの軽快なダンスにのせて、いよいよ今年の銭フェがスタートしました。お昼時にもなると、それぞれの屋台には大きな人だかりができ、模擬店スタッフたちはてんやわんやの大忙しです。12時半ころには早くも完売する屋台が出始め、販売終了時刻の午後1時までにはほぼすべての屋台が商品売り切れ、盛況のうちに閉店となりました。お召し上がりになったお客様からは「全部おいしかったよ!」と、嬉しいご感想もいただくことができました。





午後1時、ついに皆様お待ちかねのアトラクション& 銭フェス・ナンバーズの時間がやってきました。今年のアトラクションは、オープニングでも披露した『ジャンボリミッキー』とYOASOBIの『アイドル』に合わせたダンスです。基本流行りものは必ず攻める銭形オールスターズ。今回も子どもから大人まで幅広い客層の肝と横隔膜をあざとくえぐるパフォーマンスで、お客様からの大きな笑い声と拍手喝采を浴びていました。



そして、祭りを締めくくるは、昨年から『銭フェス・ナンバーズ』と銘打ったくじ引き大会。今回は特等から3等までの豪華景品に加え、「銭形賞（金一封）」と、今年12月のオープンを目指す訪問介護銭形Nにちなんだ「訪問介護銭形N 新規出店記念特別賞（新潟産こしひかり 30kg）」も追加しました。自分の手元の札に書かれた番号が読み上げられるたびに、会場からは歓喜と感嘆の声が上がり、司会者の番号を引く手と声にも自然と力が入ります。上位の賞品をゲットして小躍りする人もあれば、狙った賞品を逃して悔しがっているのがくじ引きの掟、浮世の定めというもの。しかし、大勝負を終えたお客様たちはみなさん、手に入れた景品を大事そうに胸に抱え、笑顔でお互いの健闘をたたえ合っておられました。これぞまさに銭フェスマンシップです!!



今年の銭形フェスティバルもたくさんの方々にご来場を賜り、誠にありがとうございました。銭形グループのご利用者でご家族をはじめ、近隣住民の方々、関係機関や取引先の方々など、長きにわたり当グループと関わりを持っていただいている様々なゆかりの方々を足運んで下さり、日頃の感謝をお伝えする機会をいただけたことは、私たちにとってもとても楽しいひと時でした。年に1度のイベントゆえに至らない点も多かったとは思いますが、来年もまた皆様と元気に銭フェスでお会いできることを楽しみに、職員一同力を合わせて日々の業務に励みたいと思います。

(執筆：上原 啓輔)

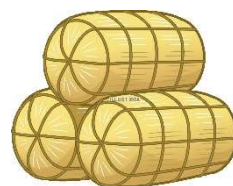


食欲の秋！ 新米・松茸・栗・芋～デイサービス銭形～

ようやく暑かった夏も終わり、実りの秋を迎えたデイサービス銭形では、お昼時になるとこの時季恒例の“おいしい匂い”が立ち込めてきます。

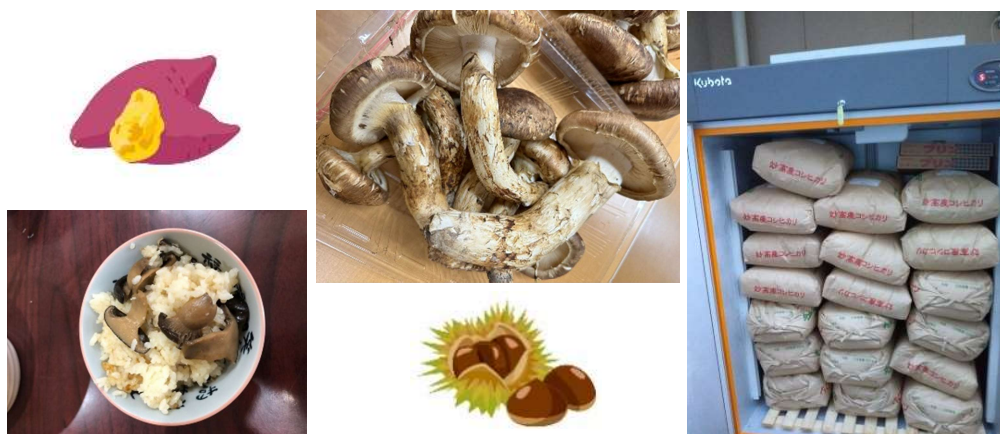
9月18日の敬老の日のお昼ごはんには、ぷりっとした食感と濃い旨味が特徴の大黒本しめじの炊き込みご飯、そして26日から28日には、皆さんから毎年ご好評をいただいている香り豊かな松茸をふんだんに使った松茸ご飯をご提供しました。また、10月初旬には、社長が自らトラックのハンドルを握り、約460キロメートル離れた新潟県妙高市までお米を買い付けに行ってくれました。今年もおよそ2.5トンの新米を載せたトラックがデイサービス銭形に無事帰還し、スタッフ総出で荷下ろしを行いました。

これからの秋の深まりに合わせて、昼食にはこの新米を使った栗ご飯やさつま芋ご飯、おやつには焼き芋や栗ぜんざいなども召し上がっていただく予定で、利用者様の食欲をそそること間違いなしです!!



秋たけなわ、おいしいものが街に溢れるこの季節。旬の味覚を味わいながら、この時季ならではのほっこりとしたひと時を利用者の皆様といっしょに過ごしたいと思います!

(執筆：吉見 菜穂)



新任スタッフのご紹介



相川 真有美 (あいかわまゆみ)
所属：デイサービス銭形
座右の銘は「継続は力なり」
日々勉強しながら利用者様のお役に立てるよう、一生懸命頑張ります!



福嶋 恵介 (ふくしまけいすけ)
所属：訪問介護銭形
ご迷惑をおかけするかもしれませんが、少しずつでも仕事に慣れていけるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。



永井 久美 (ながいくみ)
所属：訪問介護銭形
介護職は初めてで、ご迷惑をおかけすることもあるとは思いますが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。



向島 汰一 (むこうじまたいち)
所属：訪問介護銭形
介護職歴は5年程ありますが、訪問介護は初めてなので、先輩方のご指導のもと精一杯努力して参ります。